

### 3 花き

#### (1) 施肥及び土壌管理上の留意点

##### 1) 施肥上の留意点

###### ア 切り花

ア) 花きの施設土壌では pH、EC の測定だけでは残存窒素量、塩基の推定が困難な場合が多いため、作付け前に土壌診断により無機態窒素、可給態リン酸、塩基等を測定し、窒素、リン酸、カリウム及び石灰質資材の施用量を決定する。

イ) 作物の養分吸収特性を考慮して、基肥施用量、1 回当たりの追肥施用量及び回数を決める。適量を超えて施用しても、収量は増加しないばかりか品質の低下を招くので、栽培期間中土壌の pH、EC を定期的に測定し追肥に反映させる。

ウ) 土壌養分に応じた施肥管理を実施して、塩類集積が生じないように心がける。塩類集積土壌では、イネ科作物の導入、表土の除去などによる除塩対策を実施する。

エ) リン酸過剰土壌ではリン酸の施用量を基準量よりも減らす。可給態リン酸が 200mg/100g 以上の土壌では基準の 1/3 程度か無リン酸とし、100~200mg/100g では 1/2 程度とする。

オ) カリウムは、窒素以上に吸収量が多いため不足しないよう留意する。また、塩基バランスは生育に影響を与えるので、適正になるように調整する。カリウム過剰土壌においては、カリウム含量の低い有機質資材を施用するとともに施用量を控える。著しいカリウム集積土壌では無施用とするとともに、除塩対策を行い、カリウムを適正濃度に維持する。

カ) 微量要素の施用については、過不足とならないように留意する。液肥による低濃度でのかん水施肥が安全である。

###### イ 鉢物

ア) 一般に鉢物は、かん水量が多く肥料の溶脱量も多いため、養分吸収量に比べ施肥量の割合が多い。緩効性肥料、液肥、有機質肥料を効率的に利用し、鉢内の養分濃度を適正に維持するとともに、できるかぎり肥料成分の溶脱を減らす。

イ) 鉢物用培土としては保肥力があり通気性・保水性を確保できる培土が望ましい。この条件を満たせるよう複数の資材を選択し混合する。

ウ) 緩衝能のない軽石、砂、パーライトなどのような培地では肥料がダイレクトに効き、濃度障害をおこしやすいので注意する。肥効調節型肥料又は緩効性肥料と液肥を組み合わせ効率的な施肥を行うか、有機質肥料を用いる場合、1 回の施用量に留意する。

エ) 観葉植物、鉢花類、ラン類いずれも生育及び養分吸収パターンにあわせた合理的な施肥管理を行う。

オ) 仕上げ鉢では、鑑賞期間中も安定した肥効が期待できるため、緩効性肥料を用いることが望ましい。

## 2) 土壌管理上の留意点

- ア 露地、施設土壌ともに地力増加のため、堆肥、稲わら等の有機質資材を県の施用基準に基づいて施用する。その場合、有機質資材からの肥効率を考慮して減肥する。
- イ 蒸気消毒等で土壌消毒を行った場合、消毒前に家畜ふん堆肥等を施用するとアンモニア態が増加集積するので消毒後に施用する。
- ウ ロータリ耕耘を続けたほ場では耕盤が形成されやすいので、数年ごとに深耕ロータリやバックホーによる深耕を行い、さらに有機物資材を補給し、下層土の物理性の改良を図る。
- エ ボリュームだけでなく、茎葉のバランスとともに日持ちも優れた高品質の切り花、鉢物生産を行うため、施肥の効率化を図って適正施肥量を守るとともに、地上部だけでなく地下部の環境管理にも留意する。

## (2) 新しい技術（花き）

### 1) バラ切り花における循環式養液栽培システム

バラ切り花栽培では、多くの生産者で養液栽培が導入されており、そのほとんどが液肥（EC1～2程度）の掛け流し栽培である。生産者は、培地内の養分濃度ができるだけ均一になるように多めの液肥を与えるため、肥料成分の多くがバラに吸収されることなく栽培系外に排出されている。このことは施用した肥料成分が無駄になることのみならず、環境への影響も懸念されている。

そこで、平成24年9月から平成27年8月まで行った試験において、比較的簡易な方法で培養液を循環させ、栽培系外に排出される肥料成分を大幅に少なくする栽培方法を開発したので解説する。

なお、基本として用いる培養液成分は、県内の生産者の多くが掛け流し栽培に用いている愛知花研バラ処方とした（表IV-3-1）。

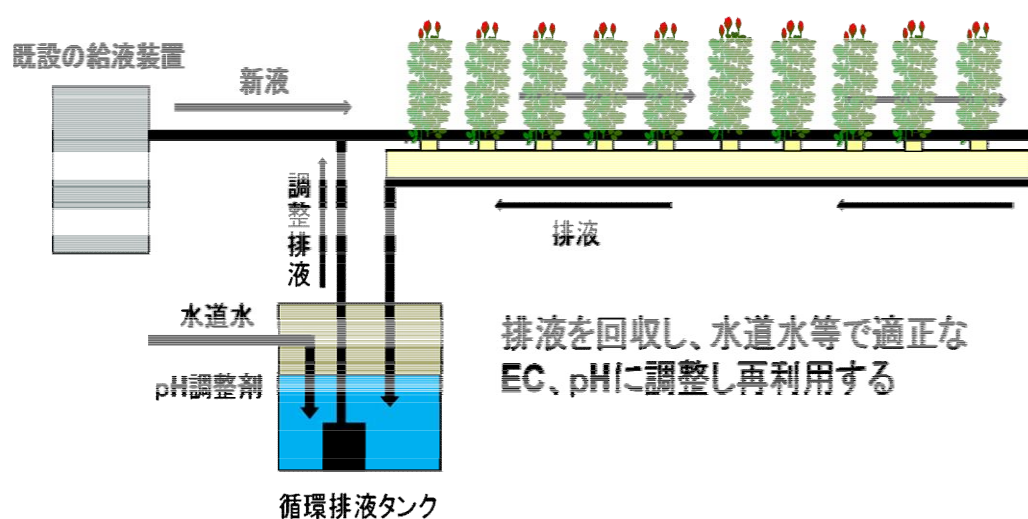
表IV-3-1 愛知花研バラ処方

	pH	EC	NO <sub>3</sub> -N	NH <sub>4</sub> -N	P	K	Ca	Mg	S	Fe	Mn	B	Zn	Cu	Mo
			単位: me/L							単位: ppm					
夏用	5.0~6.0	1.2~1.5	11.0	1.0	3.0	5.0	6.0	2.0	2.0	2.00	0.50	0.25	0.20	0.05	0.05
冬用	5.0~6.0	1.5~1.8	12.5	1.3	3.0	5.5	7.0	2.0	2.0	2.00	0.50	0.25	0.20	0.05	0.05

#### ア 開発した循環式養液栽培システムについて

##### ア) 給液方式

開発したシステムは、排水タンクに回収された排水のEC及びpHを調整（以下、調整排水）し、通常の給液ラインの途中から既存のラインにのせて給液を行う排水調整タンク独立方式の循環式養液栽培とした（図IV-3-1）。



図IV-3-1 排水タンクを独立させた循環式養液栽培

## イ) 給液方法

給液方法は、1日のうち前半の数回は愛知花研バラ処方<sup>1)</sup>の養液(以下、新液)を施用し、それ以降は調整排液を施用した。養液濃度は、新液については掛け流し栽培と同様のEC値で使用し、調整排液については、新液のEC値と同等かやや高めに設定した。給液回数については、新液の給液回数と調整排液の給液回数の合計が通常<sup>2)</sup>の掛け流し栽培同様となるよう行い、1回の給液量は、新液については掛け流し栽培と同量、調整排液については培地内の養分濃度や排液中の肥料成分量の差を少なくするために1回当たりの給液量を3割程度増加させた。

## ウ) 新液及び調整排液の給液回数

掛け流し栽培で排液率が約30%となるように給液量を調整した。この場合の養液成分の利用<sup>3)</sup>率を調査した結果、多くの成分で30%程度の利用率であった。この結果から、1日当たり10回程度(通常<sup>2)</sup>の掛け流し栽培で行われている給液回数)の給液回数のうち、最初の3回を新液、残りを調整排液を給液することとして栽培を開始した。循環排液タンクにおいてECが高まり過ぎ水道水による調整ができなくなった場合は1日当たりの新液の給液回数を減らし、逆に循環排液タンクの液量が確保できない場合は新液の給液回数を増やすことにより対応した。

## イ 循環式養液栽培システムの改良

### ア) クロロシスへの対応

当初順調に生育し、収量・品質についても掛け流しと同様であったが、数か月このシステムで栽培を続けるとクロロシスが散見されるようになり、そのまま栽培を続けた結果収量の低下が見られた。原因として微量要素の欠乏が考えられたため、愛知花研バラ処方<sup>1)</sup>のうち微量要素(Fe Mn B Zn Cu Mo)のみ倍量となるように新液を調整した。これによりクロロシスの発生はほとんど見られなくなり、収量・品質についても掛け流し栽培と同様となった(表IV-3-2)。

表IV-3-2 切り花収量及び品質(平成25年11月開花から平成26年5月開花まで)

品種名	区名	切り花本数	切り花長	切り花重	花高	花蕾数
		(本/株)	(cm)	(g)	(cm) <small>(スタンダードタイプ)</small>	(スプレータイプ)
サムライ08 <small>スタンダードタイプ(赤)</small>	循環区	11.1	94.2	82.4	5.4	
	掛流区	11.0	92.1	78.5	5.4	
アヴァランチェ <small>スタンダードタイプ(白)</small>	循環区	16.3	69.6	57.1	5.4	
	掛流区	16.4	69.7	54.7	5.4	
マカレナ <small>スプレータイプ(オレンジ)</small>	循環区	13.5	64.9	38.0		4.7
	掛流区	13.5	62.8	34.0		4.5

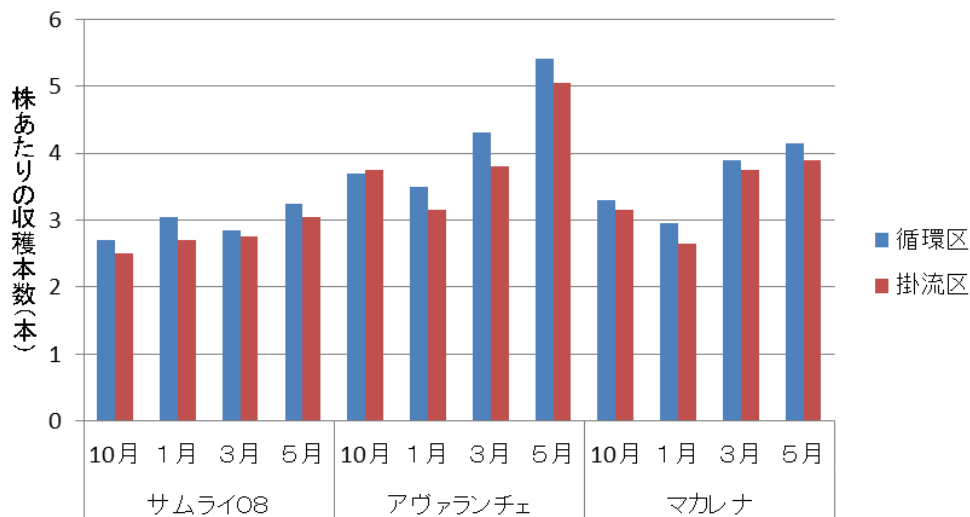
## イ) 増収を目指した給液方法

バラの養液栽培では、通常<sup>2)</sup>の掛け流し栽培の養液濃度よりも濃度を高く設定し、給液量も増やすことにより増収効果が期待されている。しかし掛け流し栽培では、与えた肥料成分の多くがバラに吸収されることなく外に排出され、養液濃度を高くし給液量を増やすことは、更なる肥料成分の排出量増加につながり現実的ではない。しかし、循環式養液栽培

であれば、排出量を増やすことなく濃度、給液量の変更が可能である。

そこで調整排水の EC を 0.8ms/cm 程度高く設定し、給液量を 2 倍にして栽培した。その結果、切り花長、切り花重、花高等の形質はほとんど変化がなく、収穫本数が数%増加した(図IV-3-2)。

また、日持ちについても調査したが全く変化は見られなかった(表IV-3-3)。



図IV-3-2 循環排水の給液濃度を高くし給液量を増加させた場合の株当たり収穫本数  
(平成 26 年 10 月開花から平成 27 年 5 月開花まで)

表IV-3-3 循環式養液栽培と日持ち日数

品種名	区名	日持ち
		(日)
サムライ08	循環区	6.0
スタンダードタイプ(赤)	掛流区	6.0
アヴァランチェ	循環区	9.4
スタンダードタイプ(白)	掛流区	9.0
マカレナ	循環区	5.2
スプレータイプ(オレンジ)	掛流区	5.0

\*温度 25℃、湿度 60%、1000 lx 12 時間日長

#### ウ 本システム採用に当たっての注意点

今回用いた、排水循環方式により全く排水を捨てることなく 3 年間の栽培が可能であり、更に給液濃度、給液量の改善による増収効果も示唆された。しかし、本試験においては、比較的ミネラル分等が少ない原水を利用したため、このような長期栽培が可能であったと考えられる。原水の性質によっては、特定の成分の集積による生育障害が起こる可能性があり、現実的な方法として、数か月に 1 回排水タンク内の循環排水を捨てる、または、新液の給液回数を増やし、EC 調整の過程で余った養液は捨てること等の対応が必要である。この場合、一部養液を栽培系外に排出することになるが、それでも通常の掛け流し栽培に比較すれば大幅な肥料費が削減でき、かつ環境への影響が少ないバラ栽培が可能となる。

### (3) 施肥基準

- 1) 秋ギク・二度切り・12月下旬～4月下旬出荷
- 2) 秋ギク・12月下旬出荷
- 3) 夏秋ギク・8月上旬出荷
- 4) 夏秋小ギク・露地栽培・マルチ
- 5) スプレーギク・秋ギクタイプ
- 6) スプレーギク・夏秋ギクタイプ・9月出荷
- 7) カーネーション・灌水施肥栽培・10～5月出荷
- 8) バラ・養液栽培・アーチング仕立て・周年出荷
- 9) トルコギキョウ・1～2月出荷
- 10) ガーベラ・周年・少量培地耕・9～4月出荷
- 11) グロリオサ・年6作出荷
- 12) アルストロメリア・加温栽培・地中冷却・春植え・灌水施肥栽培・(4年据置)・9～5月出荷
- 13) カラー・3年据置・11～5月出荷
- 14) チューリップ・12～3月出荷
- 15) フリージア・11～12月出荷
- 16) シュッコンカスミソウ・二度切り栽培・12～1月～4～6月出荷
- 17) デルフィニウム・灌水施肥栽培・10～6月出荷
- 18) スイートピー・11～4月出荷
- 19) ストック・1月出荷
- 20) ハイブリッド・スターチス・3年据置・10～6月出荷
- 21) ユリ・冷凍球を用いた抑制栽培・12月出荷
- 22) クルクマ・6～10月出荷
- 23) シクラメン・平坦地・手かん水・5号鉢・10～12月出荷
- 24) シクラメン・平坦地・樋一ひも給水・5号鉢・10～12月出荷
- 25) シクラメン・平坦地・エブアンドフロー・5号鉢・10～12月出荷
- 26) シクラメン・平坦地・マット給水・3号鉢・10～11月出荷
- 27) シクラメン・山間地・樋一ひも給水・5号鉢・10～11月出荷
- 28) ポインセチア・手かん水・5号鉢・11月出荷
- 29) ポインセチア・エブアンドフロー・5号鉢・11月出荷
- 30) ハイドランジア・青系・手かん水・5号鉢・4月出荷
- 31) ハイドランジア・ピンク系・手かん水・5号鉢・4月出荷
- 32) ハイドランジア・青系・エブアンドフロー・5号鉢・4月出荷
- 33) ハイドランジア・ピンク系・エブアンドフロー・5号鉢・4月出荷
- 34) ポトス・施設栽培・3号苗・3月出荷
- 35) ポトス・施設栽培・5号つり・4～5月出荷
- 36) ポトス・施設栽培・10号へゴ・9～10月出荷
- 37) シンビジウム・山上げ促成栽培・6号鉢・11～12月出荷

- 38) デンドロビウム・山上げ促成栽培・5号鉢・11～3月出荷
- 39) デンドロビウム・フォーミダブル・3号鉢・4～5月出荷
- 40) ファレノプシス・リレー栽培・3.5号鉢・6月、12月出荷
- 41) パンジー・3号ポット・11月出荷
- 42) マリーゴールド・3号ポット・5月出荷
- 43) バラ苗・畑地、水田・10～12月出荷
- 44) アンスリウム・6号鉢・11～12月出荷
- 45) ホオズキ・8月出荷
- 46) ケイトウ・7～9月出荷

## 1) 秋ギク(二度切り)

**主要品種名** 神馬  
**出荷時期** 12月下旬～4月下旬  
**栽植密度** 42,000 本/10a  
**目標収量** 1作目 40,000 本/10a  
 2作目 40,000 本/10a

### 主要作業

	7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月			4月			5月			6月					
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
主要作業等							定植					消灯				収穫			整枝					消灯							収穫								
							電照									電照						短日処理																	
施肥							基肥		追肥1						追肥2						追肥1						追肥2												

### 施肥基準(1作目)

kg/10a

施用時期	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	備考
基肥	21	20	21	
追肥1	14	0	14	分施する。
追肥2				
施肥合計量	35	20	35	

### 施肥基準(2作目)

kg/10a

施用時期	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	備考
追肥1	10	0	10	分施する。
追肥2				
施肥合計量	10	0	10	

### 土壌診断基準

項目	土性	砂質 CEC<6	壤質 CEC 5~10	粘質 CEC 8~15	分析法
pH (1:2.5)		5.6~6.4			
EC (1:2.5) (dS/m)		0.1~0.3			
可給態リン酸 (mg/100g)		30~50			Truog法
交換性Ca0 (mg/100g)		105	85 ~ 185	140 ~ 280	
交換性Mg0 (mg/100g)		20	15 ~ 40	30 ~ 60	
交換性K <sub>2</sub> O (mg/100g)		20	15 ~ 35	25 ~ 50	
腐植 (%)		3~5			

### 施用上の留意点

- ・基肥は肥効調節型肥料を主体とし、二度切りを前提とした。
- ・追肥は、草丈20~30cmと消灯後15日頃行う。
- ・深耕により耕土を40cm以上とする。地下水位の高いところ、排水不良地では暗渠排水設備を整備する。



## 2) 秋ギク

主要品種名 神馬  
 出荷時期 12月下旬  
 栽植密度 42,000 本/10a  
 目標収量 40,000 本/10a

### 主要作業

	7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月			4月			5月			6月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
主要作業等							定植					消灯						収穫																		
							電照																													
施肥							基肥		追肥1						追肥2																					

### 施肥基準

kg/10a

施用時期		N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	備考
基肥	9月上旬	15	15	15	
追肥1	9月下旬	10	0	10	分施する。
追肥2	11月中旬				
施肥合計量		25	15	25	

### 土壌診断基準

項目	土性	砂質 CEC<6	壤質 CEC 5~10	粘質 CEC 8~15	分析法
pH (1:2.5)		5.6~6.4			
EC (1:2.5) (dS/m)		0.1~0.3			
可給態リン酸 (mg/100g)		30~50			Truog法
交換性Ca0 (mg/100g)		105	85 ~ 185	140 ~ 280	
交換性Mg0 (mg/100g)		20	15 ~ 40	30 ~ 60	
交換性K <sub>2</sub> O (mg/100g)		20	15 ~ 35	25 ~ 50	
腐植 (%)		3~5			

### 施用上の留意点

- ・ 基肥は肥効調節型肥料を主体とする。
- ・ 追肥は、草丈20~30cmと消灯後15日頃行う。
- ・ 深耕により耕土を40cm以上とする。地下水位の高いところ、排水不良地では暗渠排水設備を整備する。

### 3) 夏秋ギク

主要品種名 精の一世  
 出荷時期 8月上旬  
 栽植密度 50,000 本/10a  
 目標収量 47,000 本/10a

#### 主要作業

	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月					
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
主要作業等													定植				消灯								収穫														
													電照			短日処理																							
施肥													基肥									追肥																	

#### 施肥基準

kg/10a

施用時期		N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	備考
基肥	5月上旬	12	12	12	
追肥	7月上旬	8	0	8	
施肥合計量		20	12	20	

#### 土壌診断基準

項目	土性				分析法
	砂質 CEC<6	壤質 CEC 5~10	粘質 CEC 8~15		
pH (1:2.5)	5.6~6.4				
EC (1:2.5) (dS/m)	0.1~0.3				
可給態リン酸 (mg/100g)	30~50				Truog法
交換性CaO (mg/100g)	105	85 ~ 185	140 ~ 280		
交換性MgO (mg/100g)	20	15 ~ 40	30 ~ 60		
交換性K <sub>2</sub> O (mg/100g)	20	15 ~ 35	25 ~ 50		
腐植 (%)	3~5				

#### 施用上の留意点

- ・ 基肥は肥効調節型肥料を主体とする。
- ・ 追肥は、消灯後15日頃行う。
- ・ 深耕により耕土を40cm以上とする。地下水位の高いところ、排水不良地では暗渠排水設備を整備する。

#### 4) 夏秋小ギク(露地栽培・マルチ)

主要品種名 水草(白), 翁丸(黄), 糸子(赤), 小鈴

出荷時期 8月

栽植密度 36,000 本/10a

目標収量 32,000 本/10a

#### 主要作業

	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
主要作業等										マルチ	定植	摘心																								
施肥										基肥																										

#### 施肥基準

kg/10a

施用時期	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	備考
基肥 4月上旬	25	15	25	
施肥合計量	25	15	25	

#### 土壌診断基準

項目	土性	砂質	壤質	粘質	分析法
		CEC<6	CEC 5~10	CEC 8~15	
pH (1:2.5)		5.6~6.4			
EC (1:2.5) (dS/m)		0.1~0.3			
可給態リン酸 (mg/100g)		30~50			Truog法
交換性CaO (mg/100g)		105	85 ~ 185	140 ~ 280	
交換性MgO (mg/100g)		20	15 ~ 40	30 ~ 60	
交換性K <sub>2</sub> O (mg/100g)		20	15 ~ 35	25 ~ 50	
腐植 (%)		3~5			

#### 施用上の留意点

- ・ 基肥は肥効調節型肥料など緩効性肥料を主体とする。
- ・ 水管理 pH1.5~2.2、1回の灌水3~5mmとする。



## 6) スプレーギク 夏秋ギクタイプ

**主要品種名** セイパレット(白)，セイリムー，スプレーイチ夏1号(黄)，セイアイシスピンク(ピンク)  
**出荷時期** 9月  
**栽植密度** 48,000 本/10a  
**目標収量** 45,000 本/10a

### 主要作業

	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
主要作業等															定植			消灯						収穫												
															電照																					
施肥															基肥			追肥																		

### 施肥基準

kg/10a

施用時期		N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	備 考
基肥	6月下旬	10	10	10	
追肥	7月中旬	5	0	5	
施肥合計量		15	10	15	

### 土壌診断基準

項目	土性	砂質	壤質	粘質	分析法
		CEC<6	CEC 5~10	CEC 8~15	
pH (1:2.5)			5.6~6.4		
EC (1:2.5) (dS/m)			0.1~0.3		
可給態リン酸 (mg/100g)			30~50		Truog法
交換性Ca0 (mg/100g)		105	85 ~ 185	140 ~ 280	
交換性Mg0 (mg/100g)		20	15 ~ 40	30 ~ 60	
交換性K <sub>2</sub> O (mg/100g)		20	15 ~ 35	25 ~ 50	
腐植 (%)			3~5		

### 施用上の留意点

- ・ 基肥は肥効調節型肥料など緩効性肥料を主体とする。
- ・ 品種により栄養要求性が著しく異なることがあるので、品種の栄養特性に注意する。

## 7) カーネーション(灌水施肥栽培)

**主要品種名**   スタンダード：フランセスコ，ホワイトラブ，セレッソ  
                   スプレー：チカス，ミルキーウェイ，シルエット  
**出荷時期**     10～5月出荷  
**栽植密度**    24,000 本/10a  
**目標収量**     120,000 本/10a

### 主要作業

	6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月			4月			5月					
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
主要作業等	定植			摘心			摘心																																
	収穫																																						
	暖房																																						
施肥	基肥			追肥1			追肥2			追肥3			追肥4			追肥5			追肥6			追肥7			追肥8			追肥9											

### 施肥基準

kg/10a

施用時期	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	備考
基肥	15	15	25	
追肥1～9	38	11	45	分施する。
施肥合計量	53	26	70	

### 土壌診断基準

項目	土性	砂質	壤質	粘質	分析法
		CEC<6	CEC 5～10	CEC 8～15	
pH (1:2.5)		6.2～6.8			
EC (1:2.5) (dS/m)		0.1～0.3			
可給態リン酸 (mg/100g)		30～50			Truog法
交換性Ca0 (mg/100g)		120	100～215	165～325	
交換性Mg0 (mg/100g)		20	20～40	30～60	
交換性K <sub>2</sub> O (mg/100g)		15	10～25	20～40	
腐植 (%)		3～5			

### 施用上の留意点

- ・基肥を施用する場合は、肥効調節型肥料を施用する。全面施用後耕起する。収穫終了時に、窒素肥料を残さないように、施肥を打ち切る。
- ・カリ含量の多い有機物を施用するときは、カリ施用量を減量する。

### 8) バラ(養液栽培・アーチング仕立て)

主要品種名 サムライ08, アヴェランチェ  
 出荷時期 周年出荷  
 栽植密度 7,000 株/10a  
 目標収量 150,000 本/10a

#### 主要作業

	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月										
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下								
一年目	主要作業等																																											
													定植						折り曲げ						折り曲げ						収穫									暖房				
												冷房																																
施肥																																												
												液肥期間																																
二年目以降	主要作業等																																											
	収穫																																											
	暖房									冷房																		暖房																
施肥																																												
												液肥期間																																

#### 培養液処方(愛知処方)

	成分濃度 (me/L)						
	NO3-N	NH4-N	P	K	Ca	Mg	EC(標準)
冬用	12.5	1.3	3.0	5.5	7.0	2.0	1.6
夏用	11.0	1.0	3.0	5.0	6.0	2.0	1.2

#### 施用上の留意点

- ・ ECは冬季は1.4~1.8dS/m、夏季は1.0~1.5dS/mで管理する。必要以上に上げないように注意する。

## 9) トルコギキョウ

主要品種名 コレゾライトピンク, 海ほのか (覆輪)

出荷時期 1月～2月

栽植密度 33,000 本/10a

目標収量 30,000 本/10a

### 主要作業

	7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月			4月			5月			8月																																												
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下																																										
主要作業等	は種			定植															収穫			暖房																																																								
施肥																																											基肥			追肥期間																																

### 施肥基準

kg/10a

施用時期		N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	備 考
基肥	9月中旬	8	10	8	
追肥	10月上旬～12月中旬	12	0	12	分施する。
施肥合計量		20	10	20	

### 施用上の留意点

・ 土壌中の肥料濃度が高いと、生育障害や立ち枯れ性病害誘発の原因となるため、緩効性肥料と液肥を組み合わせ、ECは0.4～0.7dS/m程度とする。

・ 育苗用土は、土壌消毒を行い、ECは、0.5ds/m以下で管理する。用土の各成分は、1リットル当たり100mg程度とする。

・ 前作の肥料が残り、無機態窒素濃度が高い場合、生ワラを0.5～1t/10a投入し、基肥は施用しない。

・ 発蕾期以降に窒素が効き過ぎると乱形花が発生しやすい。

・ 施肥量は品種及び作型によって変更させること



### 10) ガーベラ(周年・少量培地耕)

**主要品種名** シンパシー(ピンク), バナナ(黄), ノートアクティック(白), ナベリノ(オレンジ)  
**出荷時期** 9月~4月  
**栽植密度** 4,200 本/10a  
**目標収量** 100,000 本/10a

#### 主要作業

	5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月			4月			
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
主要作業等	定植																																				
		収穫																																			
施肥	基肥																																				
		追肥																																			
暖房																																					

#### 施肥基準

kg/10a

施用時期	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	備考
基肥 5月上旬	10	5	10	
追肥 6月上旬~3月下旬	30	15	30	分施する。
施肥合計量	40	20	40	

#### 施用上の留意点

- ・ 前作の肥料が残っている場合は基肥を減らす。定植時のECを0.6dS/m以下とし植え傷みを防ぐ。
- ・ 土壌中のECは、0.6~0.8dS/mに維持するよう液肥等で分施する。窒素過多は花着きが悪くなる。

## 11) グロリオサ

**主要品種名**    ロスチャイルディアナ, ロイヤル, オレンジサマーレッド  
**出荷時期**     年6作出荷  
**栽植密度**    10,000 球/10a  
**目標収量**     10,000 本/10a

### 主要作業

		1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
一年目	主要作業等	定植										球根掘上げ	定植										球根掘上げ	定植													球根掘上げ
	施肥	基肥											基肥											基肥													
二年目以降	主要作業等					球根掘上げ	定植					收穫												收穫													
	施肥					基肥						追肥													追肥												

### 施肥基準

kg/10a

施用時期	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	備 考
基肥	6	3	6	
追肥	6	3	6	
施肥合計量	12	6	12	

### 施用上の留意点

12) アルストロメリア(加温栽培)

主要品種名 ホイットニー(白), レモン(黄)  
 作型 地中冷却 春植え 灌水施肥栽培  
 出荷時期 9月~5月  
 栽植密度 1,400 本/10a  
 目標収量 90,000 本/10a

主要作業

	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
一年目	主要作業等															定植	収穫															暖房				
	施肥															追肥																				
二年目	主要作業等															切り戻し	収穫															暖房				
	施肥																追肥																			
三年目	主要作業等															切り戻し	収穫															暖房				
	施肥																追肥																			
四年目	主要作業等															改植	収穫															暖房				
	施肥																追肥																			

施肥基準

kg/10a

施用時期	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	備考
追肥	40	20	45	分施する。
施肥合計量	40	20	45	

施用上の留意点

- ・かん水同時施肥栽培とする。
- ・水管理 多水分を好むため、pF1.8を目安にかん水する。
- ・土づくり 50cm以上深耕する。滞水に弱いため、地下水位の高いところや排水不良地は暗きょ排水の設備が必要である。

### 13) カラー(3年据置)

主要品種名 ウェディングマーチ  
 出荷時期 11月～5月  
 栽植密度 3,300 株/10a  
 目標収量 50,000 本/10a

#### 主要作業

	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月																																																								
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下																																																						
一年目	主要作業等																																	太陽熱消毒			定植			ビニル被覆																																																		
	施肥																																				基肥																																																					
二年目	主要作業等																																	ビニル被覆									収穫									ビニル被覆			収穫																																			
	施肥																																				追肥1						追肥2						追肥3			基肥																																						
三年目	主要作業等																																	ビニル被覆									収穫									ビニル被覆			収穫																																			
	施肥																																				追肥1						追肥2						追肥3			基肥																																						

#### 施肥基準

kg/10a

施用時期		N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	備考
基肥	9月上～中旬	10	4	10	分施する。
追肥1	3月中旬	16	6	16	
追肥2	5月中旬				
追肥3	7月中旬				
施肥合計量		26	10	26	

#### 施用上の留意点

- ・水のかけ流し時期は施肥しない。
- ・1年目は太陽熱消毒で投入した石灰窒素を考慮し減肥する。

14) チューリップ(12~3月出荷)

主要品種名 プリティーウーマン, クリスマスドリーム, ストロングゴールド, インツェル  
 出荷時期 12月~3月  
 栽植密度 55,000 球/10a  
 目標収量 50,000 本/10a

主要作業

	7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月			4月			5月			6月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
主要作業等	低温処理												定植			ビニル被覆																				
施肥													基肥																							

施肥基準

kg/10a

施用時期	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	備考
基肥	10	4	10	
施肥合計量	10	4	10	

施用上の留意点

- ・ 緩効性肥料を用い基肥主体の施肥を行う。
- ・ 水管理は、pF1.5~2.2、1回の灌水量は5mm程度とする。

15) フリージア

主要品種名 ラインベルトゴールドデンイエロー, ホワイトマリー, アラジン, ブルーヘブン, エレガンス  
 出荷時期 11月~12月  
 栽植密度 12,000 球/10a  
 目標収量 12,000 本/10a

主要作業

	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月				
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
主要作業等																																						
施肥																																						

施肥基準

kg/10a

施用時期		N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	備 考
基肥	9月中旬	8	8	8	
施肥合计量		8	8	8	

施用上の留意点

- ・ 定植時ECが高いと植え傷みを起こすので注意する。基肥は緩効性肥料を用いて行う。

## 16) シュッコンカスミソウ(二度切り栽培)

**主要品種名** アルタイル, エクセレンス  
**出荷時期** 12月～1月、4月～6月  
**栽植密度** 2,400 株/10a  
**目標収量** 12,000 本/10a

### 主要作業

	8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
主要作業等				定植			電照開始			加温開始					収穫	整枝														収穫						
施肥				基肥			追肥																													

### 施肥基準

kg/10a

施用時期		N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	備考
基肥	9月上旬	5	8	5	
追肥	9月下旬～4月上旬	10	0	10	分施する。
施肥合計量		15	8	15	

### 土壌診断基準

項目	土性	砂質 CEC<6	壤質 CEC 5～10	粘質 CEC 8～15	分析法
	pH (1:2.5)		6.2～6.8		
EC (1:2.5) (dS/m)		0.1～0.3			
可給態リン酸 (mg/100g)		30～50			Truog法
交換性CaO (mg/100g)		120	100～215	165～325	
交換性MgO (mg/100g)		20	20～40	30～60	
交換性K <sub>2</sub> O (mg/100g)		15	10～25	20～40	
腐植 (%)		3～5			

### 施用上の留意点

- ・ ECは、0.5dS/m以下に矯正する。
- ・ 基肥は、緩効性肥料を用い、全層へ施用する。
- ・ 追肥は液肥を主体として行い、かん水は行わないことを基本とする。

17) デルフィニウム(灌水施肥栽培)

主要品種名 シネンシス系(スーパープラチナブルー, スーパーグランブルー)  
 出荷時期 10月~6月  
 栽植密度 12,000 株/10a  
 目標収量 88,000 本/10a

主要作業

	9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
主要作業等	定植			電照開始			加温開始																													
施肥	基肥			追肥1			追肥2							追肥3												追肥4										

施肥基準

kg/10a

施用時期	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	備考
基肥	15	15	15	
追肥1	20	10	25	分施する。
追肥2				
追肥3				
追肥4				
施肥合計量	35	25	40	

施用上の留意点

- ・基肥は、肥効調節型肥料を用いる。
- ・追肥は、開花後～抽台期を中心に灌水施肥する。



## 18) スイートピー

**主要品種名**    ダイアナ（ピンク）、ステラ（白）、ファーストレディー（ピンク）  
**出荷時期**     11月～4月  
**栽植密度**    7,000 株/10a  
**目標収量**     360,000 本/10a

### 主要作業

	8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月														
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下												
主要作業等				は種			定植	摘心					収穫																																			
施肥							基肥			追肥1			追肥2						追肥3																													

### 施肥基準

kg/10a

施用時期		N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	備 考
基肥	9月中旬	10	10	10	分施する。
追肥1	10月上旬	15	5	20	
追肥2	11月中旬				
追肥3	2月上旬				
施肥合計量		25	15	30	

### 施用上の留意点

- ・ ECIは、0.5dS/m以下に矯正する。

## 19) ストック

**主要品種名** アイアンシリーズ, 新彼岸王, ファミリーシリーズ  
**出荷時期** 1月  
**栽植密度** スプレー: 30,000 本/10a  
                   スタンダード: 40,000 本/10a  
**目標収量** 40,000 本/10a

### 主要作業

	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月					
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
主要作業等																は種	定植													収穫									
施肥																基肥	追肥1							追肥2															

### 施肥基準

kg/10a

施用時期	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	備考
基肥	10	5	10	
追肥1	5	5	10	分施する。
追肥2				
施肥合計量	15	10	20	

### 施用上の留意点

- ・ ECIは、0.5dS/m以下に矯正する。
- ・ 基肥は、有機配合または緩効性肥料を用いる。
- ・ 追肥は、IB化成、液肥などを用いる。

## 20) ハイブリッド・スターチス(3年据置)

主要品種名   ブルーファンタジア

出荷時期     10月～6月

栽植密度    3,000 株/10a

目標収量     30,000 本/10a

### 主要作業

		4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月								
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下									
一年目	主要作業等	定植																																									
	施肥	基肥						追肥			追肥			追肥			追肥			追肥			追肥			追肥			追肥			追肥			追肥			追肥					
二年目	主要作業等				収穫																		収穫																				
	施肥	追肥			追肥			追肥			追肥			追肥			追肥			追肥			追肥			追肥			追肥			追肥			追肥			追肥					
三年目	主要作業等				収穫																		収穫																				
	施肥	追肥			追肥			追肥			追肥			追肥			追肥			追肥			追肥			追肥			追肥			追肥			追肥			追肥					

### 施肥基準

kg/10a

施用時期	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	備 考
基肥	10	5	10	
追肥	20	10	20	分施する。
施肥合計量	30	15	30	

### 施用上の留意点

- ・ ECは、0.5dS/m以下に矯正する。
- ・ 基肥は、有機配合または緩効性肥料を用いる。
- ・ 追肥は、IB化成、液肥などを用いる。

21) ユリ(冷凍球を用いた抑制栽培)

主要品種名 カサブランカ  
 出荷時期 12月  
 栽植密度 12,000 株/10a  
 目標収量 12,000 本/10a

主要作業

	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
主要作業等															定植									加温開始			収穫									
施肥															基肥									追肥												

施肥基準

kg/10a

施用時期		N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	備 考
基肥	8月下旬	10	10	10	
追肥	10月下旬	5	0	5	
施肥合計量		15	10	15	

施用上の留意点

- ・緩効性肥料を用い施肥を行う。
- ・追肥時期は発蕾期に施用する。

## 22) クルクマ

主要品種名 シャローム (アリスマティフォリア)

出荷時期 6月～10月

栽植密度 5,000～5,500 球/10a

目標収量 30,000 本/10a

### 主要作業

	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月					
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
主要作業等				催芽処理			定植									収穫																		球根掘上					
施肥							追肥1									追肥2			追肥3			追肥4			追肥5														

### 施肥基準

kg/10a

施用時期		N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	備 考
追肥1	3月下旬	10	10	10	
追肥2	6月下旬	5	2	4	
追肥3	7月下旬	5	2	4	
追肥4	8月下旬	5	2	4	
追肥5	9月下旬	5	2	4	
施肥合計量		30	18	26	

### 施用上の留意点

- ・有機ペレット肥料を基準としたものである。
- ・定植前の除塩処理を行う。

### 23) シクラメン(平坦地)

主要品種名 F1品種, パステル系品種  
 作型 手かん水 5号鉢  
 出荷時期 10月~12月  
 栽植密度 10,000 鉢/10a  
 目標収量 10,000 鉢/10a

#### 主要作業

	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
一年目	主要作業等																																	は種		
	暖房																																			
施肥																																				
二年目以降	主要作業等																																	出荷		
	暖房																																			
施肥																																				
液肥期間 基肥																																				
液肥期間 基肥																																				
液肥期間 追肥1																																				
追肥2																																				

#### 施肥基準

施用時期		N		P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>		K <sub>2</sub> O		備考	
3号鉢	基肥	3月下旬	0.05	g/鉢	0.02	g/鉢	0.05	g/鉢	
5号鉢	基肥	6月中旬	0.2	g/鉢	0.1	g/鉢	0.2	g/鉢	
5号鉢	追肥1	9月中旬	0.4	g/鉢	0.1	g/鉢	0.9	g/鉢	
5号鉢	追肥2	10月中旬	0.4	g/鉢	0.1	g/鉢	0.9	g/鉢	

#### 土壌診断基準

項目	土性	砂質	壤質	粘質	分析法
		CEC<6	CEC 5~10	CEC 8~15	
pH (1:2.5)		5.6~6.2			
EC (1:2.5) (dS/m)		0.1~0.3			
可給態リン酸 (mg/100g)		30~50			Truog法
交換性CaO (mg/100g)		95	80 ~ 170	125 ~ 255	
交換性MgO (mg/100g)		20	15 ~ 35	30 ~ 55	
交換性K <sub>2</sub> O (mg/100g)		20	20 ~ 40	30 ~ 60	
腐植 (%)		3~5			

#### 施用上の留意点

- ・ 3号鉢では、40～50mgN/Lの液肥を灌水時に施用するか、150mgN/Lの液肥を1週間に1回施用する。
- ・ 基肥の量は、用土に含まれる成分量で増減する。
- ・ 高温時は生育が抑制されるが、過度に施肥量を少なくすると出荷時の開花本数が少なくなるため、適宜液肥を施用する。
- ・ 調整ピートモスをベースに保肥力、保水力があり通気性の良い用土を作成する。気相率は25～30%を目安とする。
- ・ 用土の化学性は、pH6.0、EC 0.6dS/mを目安とする。

## 24) シクラメン(平坦地)

**主要品種名** F1品種, パステル系品種  
**作型** 樋一ひも給水 5号鉢  
**出荷時期** 10月~12月  
**栽植密度** 10,000 鉢/10a  
**目標収量** 10,000 鉢/10a

### 主要作業

	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
一年目	主要作業等																																	は種		
	暖房																																			
施肥																																				
二年目以降	主要作業等																																	出荷		
	暖房																																			
施肥																																				
3号鉢上げ 5号鉢上げ 液肥期間 基肥 液肥期間 遮光 ひも給水																																				

### 施肥基準

施用時期		N		P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>		K <sub>2</sub> O		備考
3号鉢 基肥	3月下旬	0.05	g/鉢	0.02	g/鉢	0.05	g/鉢	手灌水とする。
5号鉢	7月~9月下旬	20~25	mg/L	10	mg/L	40~50	mg/L	液肥濃度 5号鉢上げ後、樋一ひも給水とする。
5号鉢	9月下旬以降	50~60	mg/L	20	mg/L	100~120	mg/L	

### 土壌診断基準

項目	土性	砂質	壤質	粘質	分析法
		CEC<6	CEC 5~10	CEC 8~15	
pH (1:2.5)		5.6~6.2			
EC (1:2.5) (dS/m)		0.1~0.3			
可給態リン酸 (mg/100g)		30~50			Truog法
交換性CaO (mg/100g)	95	80 ~ 170	125 ~ 255		
交換性MgO (mg/100g)	20	15 ~ 35	30 ~ 55		
交換性K <sub>2</sub> O (mg/100g)	20	20 ~ 40	30 ~ 60		
腐植 (%)		3~5			



#### 施用上の留意点

- ・ 3号鉢では、40～50Nmg/Lの液肥を灌水時に施用するか、150Nmg/Lの液肥を1週間に1回施用する。
- ・ 基肥の量は、用土に含まれる成分量で増減する。
- ・ 高温時は生育が抑制されるが、過度に施肥量を少なくすると出荷時の開花本数が少なくなるため、適宜液肥を施用する。
- ・ 調整ピートモスをベースに保肥力、保水力があり通気性の良い用土を作成する。気相率は25～30%を目安とする。
- ・ 品種により液肥濃度を調整する。

## 25) シクラメン(平坦地)

**主要品種名** F1品種, パステル系品種  
**作型** エブアンドフロー 5号鉢  
**出荷時期** 10月~12月  
**栽植密度** 10,000 鉢/10a  
**目標収量** 10,000 鉢/10a

### 主要作業

	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
一年目	主要作業等																														は種					
	施肥																														暖房					
二年目以降	主要作業等																														出荷					
	施肥																														暖房					

### 施肥基準

施用時期		N		P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>		K <sub>2</sub> O		備考
3号鉢 基肥	3月下旬	0.05	g/鉢	0.02	g/鉢	0.05	g/鉢	
3号鉢	鉢上げ後	30~40	mg/L	10	mg/L	60~80	mg/L	液肥濃度 3号鉢上げ後から17・7 ド・70-管理とする。
5号鉢	7月~9月下旬	30~40	mg/L	10	mg/L	60~80	mg/L	
5号鉢	9月下旬以降	60~80	mg/L	30	mg/L	120~160	mg/L	

### 土壌診断基準

項目	土性	砂質	壤質	粘質	分析法
		CEC<6	CEC 5~10	CEC 8~15	
pH (1:2.5)		5.6~6.2			
EC (1:2.5) (dS/m)		0.1~0.3			
可給態リン酸 (mg/100g)		30~50			Truog法
交換性CaO (mg/100g)		95	80 ~ 170	125 ~ 255	
交換性MgO (mg/100g)		20	15 ~ 35	30 ~ 55	
交換性K <sub>2</sub> O (mg/100g)		20	20 ~ 40	30 ~ 60	
腐植 (%)		3~5			

#### 施用上の留意点

- ・ 基肥の量は、用土に含まれる成分量で増減する。
- ・ 高温時は生育が抑制されるが、過度に施肥量を少なくすると出荷時の開花本数が少なくなるため、適宜液肥を施用する。
- ・ 給液間隔は、3～4日に1回を目安とする。
- ・ 調整ピートモスをベースに保肥力、保水力があり通気性の良い用土を作成する。気相率は25～30%を目安とする。
- ・ 品種により液肥濃度を調整する。

## 26) シクラメン(平坦地)

主要品種名 F1品種, パステル系品種

作型 マット給水 3号鉢

出荷時期 10月~11月

栽植密度 50,000 鉢/10a

目標収量 50,000 鉢/10a

### 主要作業

	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月					
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
主要作業等							は種									3号鉢上げ																							
								暖房																															
施肥													液肥期間			基肥																							

### 施肥基準

施用時期		N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	備考
基肥	6月中旬	0.2 g/L	0.06 g/L	0.4 g/L	
	6月中旬~9月下旬	60~80 mg/L	20 mg/L	120~160 mg/L	1週間に1回灌注する場合の液肥濃度。
	9月下旬以降	120~160 mg/L	40 mg/L	240~320 mg/L	液肥濃度は品種により調整する。

### 土壌診断基準

項目	土性			分析法
	砂質 CEC<6	壤質 CEC 5~10	粘質 CEC 8~15	
pH (1:2.5)	5.6~6.2			
EC (1:2.5) (dS/m)	0.1~0.3			
可給態リン酸 (mg/100g)	30~50			Truog法
交換性Ca0 (mg/100g)	95	80 ~ 170	125 ~ 255	
交換性Mg0 (mg/100g)	20	15 ~ 35	30 ~ 55	
交換性K <sub>2</sub> O (mg/100g)	20	20 ~ 40	30 ~ 60	
腐植 (%)	3~5			

### 施用上の留意点

- ・液肥濃度は1週間に1回灌注する場合の濃度(100ml/鉢/週)。
- ・基肥の量は、用土に含まれる成分量で増減する。
- ・高温時は生育が抑制されるが、過度に施肥量を少なくすると出荷時の開花本数が少なくなるため、適宜液肥を施用する。
- ・調整ピートモスをベースに保肥力、保水力があり通気性の良い用土を作成する。気相率は25~30%を目安とする。

## 27) シクラメン(山間地)

主要品種名 F 1 品種, パステル系品種

作型 樋一ひも給水 5号鉢

出荷時期 10月~11月

栽植密度 10,000 鉢/10a

目標収量 10,000 鉢/10a

### 主要作業

	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
一年目	主要作業等																																	は種		
	暖房																																			
施肥																																				
二年目以降	主要作業等																																	は種		
	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;">3号鉢上げ</div> <div style="width: 30%;">5号鉢上げ</div> <div style="width: 30%;">出荷</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 5px;"> <div style="width: 30%;">暖房</div> <div style="width: 30%;">遮光</div> <div style="width: 30%;">暖房</div> </div>																																			
施肥																																				
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;">液肥期間 基肥</div> <div style="width: 30%;">液肥期間</div> <div style="width: 30%;">ひも給水</div> </div>																																				

### 施肥基準

施用時期		N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	備考
3号鉢 基肥	3月中旬	0.05 g/鉢	0.02 g/鉢	0.05 g/鉢	1週間に1回灌注する場合の液肥濃度。液肥濃度は品種により調整する。
3号鉢	鉢上げ後	60~80 mg/L	20 mg/L	120~160 mg/L	
5号鉢	6月~9月中旬	60~80 mg/L	20 mg/L	120~160 mg/L	
5号鉢	9月中旬以降	120~160 mg/L	40 mg/L	240~320 mg/L	

### 土壌診断基準

項目	土性	砂質	壤質	粘質	分析法
		CEC<6	CEC 5~10	CEC 8~15	
pH (1:2.5)		5.6~6.2			
EC (1:2.5) (dS/m)		0.1~0.3			
可給態リン酸 (mg/100g)		30~50			Truog法
交換性CaO (mg/100g)		95	80 ~ 170	125 ~ 255	
交換性MgO (mg/100g)		20	15 ~ 35	30 ~ 55	
交換性K <sub>2</sub> O (mg/100g)		20	20 ~ 40	30 ~ 60	
腐植 (%)		3~5			

#### 施用上の留意点

- ・液肥濃度は1週間に1回灌注する場合の濃度(100ml/鉢/週)。
- ・基肥の量は、用土に含まれる成分量で増減する。
- ・高温時は生育が抑制されるが、過度に施肥量を少なくすると出荷時の開花本数が少なくなるため、適宜液肥を施用する。
- ・調整ピートモスをベースに保肥力、保水力があり通気性の良い用土を作成する。気相率は25~30%を目安とする。

## 28) ポインセチア(手かん水)

**主要品種名** プレステージアーリーレッド, イチバン, フリーダムレッド  
**作型** 5号鉢  
**出荷時期** 11月  
**栽植密度** 10,500 鉢/10a  
**目標収量** 10,500 鉢/10a

### 主要作業

	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月											
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下									
主要作業等																						定植	摘心																	出荷					
													遮光			暖房																													
施肥																						基肥																					追肥		

### 施肥基準

g/鉢

施用時期		N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	備 考
基肥	8月中旬	1	0.4	1	
追肥	9月下旬	0.5	0.2	0.5	
施肥合計量		1.5	0.6	1.5	

### 施用上の留意点

- ・ 基肥は速効性肥料30%、緩効性肥料70%を目安とする。
- ・ 硝酸態窒素主体の肥料を用いる。
- ・ 基肥の量は、用土に含まれる成分量で増減する。
- ・ 生育初期に肥料が不足しないよう注意する。品種により、生育後半肥料が不足する場合はN:200mg/Lの液肥を施用する。
- ・ 乾燥しすぎると落葉、葉の黄化を起こすので注意する。

29) ポインセチア(エブアンドフロー)

主要品種名 イタリアンレッド, プレステージアーリーレッド, イチバン, フリーダムレッド  
 作型 5号鉢  
 出荷時期 11月  
 栽植密度 10,500 鉢/10a  
 目標収量 10,500 鉢/10a

主要作業

	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
主要作業等																																				
施肥																																				

施肥基準

施用時期		N		P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>		K <sub>2</sub> O		備考	
基肥	8月中旬	0.3	g/鉢	0.1	g/鉢	0.3	g/鉢		
苞着色前		120	mg/L	40	mg/L	120	mg/L		
苞着色後		60	mg/L	20	mg/L	60	mg/L		

施用上の留意点

- ・基肥は肥効調節型肥料を用い、用土に含まれる成分量で増減する。
- ・硝酸態窒素主体の肥料を用いる。
- ・苞が着色し始めたら培養液濃度を下げる。
- ・給液間隔は2~3日に1回を目安とする。



### 30) ハイドランジア(青系)

**主要品種名** マリンブルー、ブルースカイ、パバリア  
**作型** 手かん水 5号鉢  
**出荷時期** 4月出荷  
**栽植密度** 10,500 鉢/10a  
**目標収量** 10,500 鉢/10a

#### 主要作業

		1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月						
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下							
一年目	主要作業等																																								
	施肥																																								
二年目以降	主要作業等																																								
	施肥																																								

#### 施肥基準

施用時期	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	備考
3.5号鉢 基肥	0.05 g/鉢	0.02 g/鉢	0.05 g/鉢	
3.5号鉢 追肥1	0.07 g/鉢	0.02 mg/L	0.1 mg/L	
3.5号鉢 追肥2	0.07 g/鉢	0.02 mg/L	0.1 mg/L	
5号鉢 基肥	0.2 g/鉢	0.1 g/鉢	0.2 g/鉢	
入室2週間後～ ガク着色後	100 mg/L 0 mg/L	20 mg/L 0 mg/L	150 mg/L 0 mg/L	

5号鉢の液肥濃度は7～10日に1回灌注する場合の濃度。

#### 施用上の留意点

- ・3.5号鉢では、Nと等量リン酸を施用するが、5号鉢上げ後はリン酸を少なくする。
- ・基肥の量は、用土に含まれる成分量で増減する。
- ・5号鉢上げ時硫酸アルミニウムを4g/L添加するか、2g/Lの水溶液を2～3回灌注する。
- ・5号鉢上げ後の液肥は7日～10日に1回施用(100mL/鉢)。
- ・調整ピートモスをベースに保肥力、保水力があり通気性の良い用土を作成する。気相率は25～30%を目安とする。

31) ハイドランジア(ピンク系)

主要品種名 ミセスクミコ, カメレオンホベラ, ダンスパーティー  
 作型 手かん水 5号鉢  
 出荷時期 4月出荷  
 栽植密度 10,500 鉢/10a  
 目標収量 10,500 鉢/10a

主要作業

	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月				
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
一年目	主要作業等																																					
	施肥																																					
二年目以降	主要作業等	5号鉢上げ																																				
	施肥	基肥																																				

施肥基準

施用時期	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	備考
3.5号鉢 基肥	0.05 g/鉢	0.1 g/鉢	0.05 g/鉢	
3.5号鉢 追肥1	0.07 g/鉢	0.15 mg/L	0.1 mg/L	
3.5号鉢 追肥2	0.07 g/鉢	0.15 mg/L	0.1 mg/L	
5号鉢 基肥	0.2 g/鉢	0.2 g/鉢	0.2 g/鉢	5号鉢の液肥濃度は7～10日に1回灌注する場合の濃度。
入室2週間後～	100 mg/L	100 mg/L	150 mg/L	
ガク着色後	50 mg/L	50 mg/L	50 mg/L	

施用上の留意点

- ・ 3.5号鉢では、Nの2倍程度のリン酸を施用するが、5号鉢上げ後はNと等量とする（リン酸が多いと障害の発生する品種がある）。
- ・ 基肥の量は、用土に含まれる成分量で増減する。
- ・ 5号鉢上げ後の液肥は7日～10日に1回施用(100mL/鉢)。
- ・ 調整ピートモスをベースに保肥力、保水力があり通気性の良い用土を作成する。気相率は25～30%を目安とする。

### 32) ハイドランジア(青系)

**主要品種名** マリンブルー、ブルースカイ、パパリア  
**作型** エブアンドフロー 5号鉢  
**出荷時期** 4月出荷  
**栽植密度** 10,500 鉢/10a  
**目標収量** 10,500 鉢/10a

#### 主要作業

		1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
一年目	主要作業等																																				
	施肥																																				
二年目以降	主要作業等																																				
	施肥																																				

#### 施肥基準

施用時期		N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	備考
3.5号鉢 基肥	7月上旬	0.05 g/鉢	0.02 g/鉢	0.05 g/鉢	
3.5号鉢 追肥1	8月上旬	0.07 g/鉢	0.02 mg/L	0.1 mg/L	
3.5号鉢 追肥2	9月中旬	0.07 g/鉢	0.02 mg/L	0.1 mg/L	
5号鉢 基肥	1月上旬	0.2 g/鉢	0 g/鉢	0.2 g/鉢	
入室2週間後～		50 mg/L	0 mg/L	80 mg/L	
ガク着色後		0 mg/L	0 mg/L	0 mg/L	

#### 施用上の留意点

- ・ 3.5号鉢では、Nと等量リン酸を施用するが、5号鉢上げ後はリン酸を施用しない。
- ・ 基肥の量は、用土に含まれる成分量で増減する。
- ・ 5号鉢上げ時の用土に硫酸アルミニウム4g/L添加する。
- ・ 培養液はpH3.5に調整する。
- ・ 調整ピートモスをベースに保肥力、保水力があり通気性の良い用土を作成する。気相率は25～30%を目安とする。
- ・ 用土の化学性は、pH6.0、EC 0.6dS/mを目安とする。

### 33) ハイドラングア(ピンク系)

主要品種名 ミセスクミコ, カメレオンホペラ, ダンスパーティー  
 作型 エブアンドフロー 5号鉢  
 出荷時期 4月出荷  
 栽植密度 10,500 鉢/10a  
 目標収量 10,500 鉢/10a

#### 主要作業

		1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
一年目	主要作業等																																				
	施肥																																				
二年目以降	主要作業等																																				
	施肥																																				

#### 施肥基準

施用時期		N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	備考
3.5号鉢 基肥	7月上旬	0.05 g/鉢	0.1 g/鉢	0.05 g/鉢	
3.5号鉢 追肥1	8月上旬	0.07 g/鉢	0.15 g/鉢	0.1 g/鉢	
3.5号鉢 追肥2	9月中旬	0.07 g/鉢	0.15 g/鉢	0.1 g/鉢	
5号鉢 基肥	1月上旬	0.2 g/鉢	0.2 g/鉢	0.2 g/鉢	
入室2週間後～		50 mg/L	50 mg/L	100 mg/L	
ガク着色後		25 mg/L	25 mg/L	50 mg/L	

#### 施用上の留意点

- ・ 3.5号鉢では、Nの2倍程度のリン酸を施用するが、5号鉢上げ後はNと等量とする（リン酸が多いと障害の発生する品種がある）。
- ・ 基肥の量は、用土に含まれる成分量で増減する。
- ・ 調整ピートモスをベースに保肥力、保水力があり通気性の良い用土を作成する。気相率は25～30%を目安とする。

### 34) ポトス（施設栽培）

主要品種名 ゴールデンポトス, ライム  
 作型 3号苗  
 出荷時期 3月  
 栽植密度 30,000 鉢/10a  
 目標収量 24,000 鉢/10a

#### 主要作業

	12月			1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
主要作業等		挿し芽																																		
施肥						基肥																														

#### 施肥基準

g/鉢

施用時期	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	備考
基肥 1月下旬	0.15	0.08	0.15	
施肥合計量	0.15	0.08	0.15	

#### 施用上の留意点

- ・ 冬季は最低20℃を確保する。
- ・ 出荷鉢に直接挿し芽する。
- ・ 上記以外に葉色をみて液肥で追肥する。

### 35) ポトス（施設栽培）

主要品種名 ゴールデンポトス  
 作型 5号つり  
 出荷時期 4月～5月出荷  
 栽植密度 12,000 鉢/10a  
 目標収量 10,000 鉢/10a

#### 主要作業

	12月			1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
主要作業等		挿し芽														出荷																				
							遮光																													
施肥				基肥						追肥																										

#### 施肥基準

g/鉢

施用時期	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	備考
基肥 1月下旬	0.25	0.13	0.25	
追肥 3月上旬	0.75	0.38	0.75	
施肥合計量	1	0.51	1	

#### 施用上の留意点

- ・ 冬季は最低20℃を確保する。
- ・ ヘゴ仕立て以外のものは出荷鉢に直接挿し芽する。
- ・ 元土に肥料成分がある場合は、第1回目の追肥量を控える。
- ・ 上記以外に葉色をみて液肥で追肥する。

### 36) ポトス (施設栽培)

主要品種名 ゴールデンポトス  
 作型 10号ヘゴ  
 出荷時期 9月～10月  
 栽植密度 3,000 鉢/10a  
 目標収量 2,400 鉢/10a

#### 主要作業

	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
主要作業等	挿し芽				定植																			出荷												
	遮光																																			
施肥																																				

#### 施肥基準

g/鉢

施用時期	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	備考
基肥	0.25	0.13	0.25	
追肥1	0.75	0.38	0.75	
追肥2	0.75	0.38	0.75	
施肥合計量	1.75	0.89	1.75	

#### 施用上の留意点

- ・ 冬季は最低20℃を確保する。
- ・ ヘゴ仕立て以外のは出荷鉢に直接挿し芽する。
- ・ 元土に肥料成分がある場合は、第1回目の追肥量を控える。
- ・ 上記以外に葉色をみて液肥で追肥する。

### 37) シンビジウム(山上げ促成栽培)

主要品種名 プリンセスマサコ, アイスカスケード, 福娘, インザムード

作型 6号鉢

出荷時期 11月~12月

栽植密度 4,500 鉢/10a

目標収量 4,500 鉢/10a

#### 主要作業

	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月								
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下						
一年目	CP苗			3号鉢上			4号鉢上			3号鉢上			4号鉢上			4号鉢上			4号鉢上			4号鉢上			4号鉢上			4号鉢上			4号鉢上			4号鉢上								
	暖房									遮光									暖房																							
施肥				基肥																		基肥																				
二年目	6号鉢上			6号鉢上			6号鉢上			6号鉢上			6号鉢上			6号鉢上			6号鉢上			6号鉢上			6号鉢上			6号鉢上			6号鉢上			6号鉢上			6号鉢上					
	暖房									遮光									暖房																							
施肥				基肥																					追肥																	
三年目	山上げ			山上げ			山上げ			山上げ			山上げ			山上げ			山上げ			山上げ			山上げ			山上げ			山上げ			山上げ			山上げ					
	暖房									遮光									暖房																							
施肥							追肥																																			

#### 施肥基準

g/鉢

施用時期		N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	備 考
1年生株 (3号鉢)	3月中旬	0.7	0.6	0.6	中型種の施肥量。
2年生株 (4号鉢)	9月中旬	2	1.6	1.6	
開花株 (6号鉢)	3月中旬	8	6.4	6.4	中型種の施肥量。3回に分施する。
開花株 (6号鉢)	10月中旬				
開花株 (6号鉢)	4月上旬				

#### 施用上の留意点

- ・ 施肥配分は、被覆緩効性肥料を使用した場合のもの。
- ・ 大型種10に対し、中型種6、小型種4の割合を目安とする。
- ・ 用水としては、葉枯症を防ぐため、ナトリウム20mg/L以下とする。



### 38) デンドロビウム(山上げ促成栽培)

主要品種名 スノーキング, トキメキ, レッドスター

作型 5号鉢

出荷時期 11月~3月

栽植密度 4,500 鉢/10a

目標収量 4,500 鉢/10a

#### 主要作業

	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
一年目	CP苗			暖房			2号鉢上															4号鉢上									暖房					
				液肥期間			基肥																													
二年目				6号鉢上															山上げ												出荷					
				暖房			基肥															追肥												暖房		
三年目				暖房																														暖房		
				出荷																																

#### 施肥基準

g/鉢

施用時期		N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	備考
1年生株 (2号鉢)	4月中旬	0.7	0.6	0.6	中型種における有機質主体の施肥量。
2年生株 (4号鉢)	9月中旬	1	0.6	1	
開花株 (6号鉢)	3月中旬	1.5	1	1.5	
開花株 (6号鉢)	8月上旬	1.5	1	1.5	

#### 施用上の留意点

- ・ 施肥配分は、肥効調節型肥料を使用した場合のもの

39) デンドロビウム・フォーミディブル

主要品種名 フォーミアイチ1号, フォーミアイチ2号

作型 3号鉢

出荷時期 4月~5月

栽植密度 4,500 鉢/10a

目標収量 4,500 鉢/10a

主要作業

	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月										
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下								
一年目	伏せ込み			暖房									セルトレイ																															
二年目	2号鉢上			暖房																																								
	液肥期間			基肥																																								
三年目	3号鉢上			暖房																																								
	基肥																																											
四年目				暖房																																								

**施肥基準**

g/鉢

施用時期		N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	備 考
2年生株 (2号鉢)	2月上旬	0.13	0.11	0.13	
開花株 (3号鉢) 基肥	2月上旬	0.7	0.7	0.7	2回に分施する。
開花株 (3号鉢) 追肥	6月上旬				

**施用上の留意点**

- ・ 施肥配分は、緩効性肥料を使用した場合のもの

#### 40) ファレノプシス(リレー栽培)

主要品種名 白, ピンク, アマビリス他  
 作型 3.5号鉢  
 出荷時期 6月、12月  
 栽植密度 15,000 鉢/10a  
 目標収量 15,000 鉢/10a

#### 主要作業

	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月																																
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下																														
主要作業等	苗																														出荷			苗																														出荷		
	遮光																																																																	
	液肥期間																																																																	
施肥																																																																		
	液肥期間																																																																	

#### 施肥基準

施用時期		N		P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>		K <sub>2</sub> O		備考	
液肥	1月~12月	100	mg/L	100	mg/L	100	mg/L		

#### 施用上の留意点

- ・ 輸入苗によるリレー栽培。
- ・ 苗入室後、基肥施用。
- ・ 灌水時に、100Nmg/Lを数回に1回、あるいは30Nmg/L程度を毎回与える。

#### 4 1) パンジー

主要品種名 イオナシリーズ, インペリアルシリーズ, オトノシリーズ  
 作型 3号ポット  
 出荷時期 11月  
 栽植密度 75,000 鉢/10a  
 目標収量 60,000 鉢/10a

#### 主要作業

	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
主要作業等																																				
施肥																																				

#### 施肥基準

施用時期		N		P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>		K <sub>2</sub> O		備 考	
基肥	9月上旬	0.1	g/ホ <sup>ト</sup>	0.05	g/ホ <sup>ト</sup>	0.1	g/ホ <sup>ト</sup>		
液肥	9月中旬～ 10月下旬	100	mg/L	50	mg/L	100	mg/L		

#### 施用上の留意点

- ・ 基肥は緩効性肥料を用い、用土に含まれる成分量で増減する。
- ・ ポット上げ1か月後、生育を見て液肥を追肥する。

## 42) マリーゴールド

**主要品種名**    ボーイシリーズ, ボナンザシリーズ, マーチシリーズ  
**作型**            3号ポット  
**出荷時期**       5月  
**栽植密度**      75,000 鉢/10a  
**目標収量**       60,000 鉢/10a

### 主要作業

	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月				
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
主要作業等				は種				ポット上げ						出荷																								
				暖房																																		
施肥				基肥	液肥期間																																	

### 施肥基準

施用時期		N		P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>		K <sub>2</sub> O		備 考	
基肥	2月下旬	0.2	g/鉢	0.1	g/鉢	0.2	g/鉢		
液肥	3月上旬～5月上旬	100	mg/L	50	mg/L	100	mg/L		

### 施用上の留意点

- ・ 基肥は緩効性肥料を用い、用土に含まれる成分量で増減する。
- ・ ポット上げ1か月後、生育を見て液肥を追肥する。

### 43) バラ苗(畑地・水田)

主要品種名 ガーデン用品種

出荷時期 10月～12月

栽植密度 6,300 株/10a

目標収量 6,300 株/10a

#### 主要作業

	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月						
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下				
主要作業等										定植																														
施肥							基肥																																	

#### 施肥基準

kg/10a

施用時期	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	備考
基肥 3月中旬	35	18	24	畑地
基肥 3月中旬	40	21	27	水田

#### 土壌診断基準

項目	土性	砂質	壤質	粘質	分析法
		CEC<6	CEC 5~10	CEC 8~15	
pH (1:2.5)		5.4~6.4			
EC (1:2.5) (dS/m)		0.1~0.3			
可給態リン酸 (mg/100g)		30~50			Truog法
交換性CaO (mg/100g)	105	90 ~ 190	145 ~ 285		
交換性MgO (mg/100g)	20	15 ~ 35	25 ~ 55		
交換性K <sub>2</sub> O (mg/100g)	20	15 ~ 35	25 ~ 50		
腐植 (%)		3~5			

#### 施用上の留意点

- ・マルチを行うため全量基肥とする。
- ・畑地では作付前に土壌診断を行い、前作で残った肥料を考慮し施肥量を増減する。

#### 44) アンズリウム

主要品種名 ピンクチャンピオン

作型 6号鉢 (7号以上の場合は、寄せ植えを行い、3年目に出荷)

出荷時期 5月～8月

栽植密度 8,000 鉢/10a

目標収量 8,000 鉢/10a

#### 主要作業

	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
一年目	主要作業等																																			
	組織培養苗																																			
一年目	遮光																																			
	暖房																																			
一年目	施肥																																			
	基肥																																			
一年目	追肥1																																			
	追肥2																																			
二年目	主要作業等																																			
	暖房																																			
二年目	出荷																																			
	追肥3																																			

#### 施肥基準

g/鉢

施用時期	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	備考
基肥	2.0	2.8	2.3	
追肥1	2.0	2.8	2.3	
追肥2	2.0	2.8	2.3	
追肥3	2.0	2.8	2.3	

#### 施用上の留意点

- ・ 施肥配分は、被覆緩効性肥料を使用した場合のもの。
- ・ 用水としては、葉枯症を防ぐため、ナトリウム20mg/L以下とする。



#### 45) ホオズキ

主要品種名 名古屋大実ホオズキ  
 出荷時期 8月出荷  
 栽植密度 10,000本/10a  
 目標収量 10,000本/10a

#### 主要作業

	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
主要作業等												摘心						摘心						収穫									定植			
施肥																											基肥									

#### 施肥基準

kg/10a

施用時期		N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	備 考
基肥	10月上旬	20	20	20	
追肥					必要ならば追肥を行う。
施肥合計量		20	20	20	

#### 施用上の留意点

- ・ 基肥主体にし有機質肥料または緩効性肥料を施用し、追肥は行わない。
- ・ 窒素過多は実飛びや着色不良の原因となるので注意する。

#### 46) ケイトウ

主要品種名 麗炎(れいえん), 周防(すおう)  
 出荷時期 7~9月出荷  
 栽植密度 50,000本/10a  
 目標収量 35,000本/10a

#### 主要作業

	3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
主要作業等	7月出荷			は種									収穫																							
	8月出荷					は種								収穫																						
	9月出荷											は種								収穫																
施肥	施肥	基肥																																		

#### 施肥基準

kg/10a

施用時期		N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	備 考
基肥	3月上旬	3	3	3	
施肥合計量		3	3	3	

#### 施用上の留意点

- ・多肥になると茎葉が肥大して品質低下するので、注意する（前作がある場合は、肥料はいらない。）。
- ・カリが欠乏すると、下葉が枯れあがるので、生育状況をみて必要に応じて追肥する。